

1 議題「2がっきがんばったねかいをしよう」 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級は、明るく活発で、素直な児童が多い。2学期も終わりに近づき、児童はのびのびと自分らしさを出しながら学習や運動、児童会活動や学校行事等に取り組めるようになってきた。自己中心的な言動や言葉足らずの言い方でトラブルになることはあるが、教師が間に入って話し合うことで解決することもできるようになってきた。「友達ともっと仲良くなりたい」「友達を大切にしたい」「いろいろなことをみんなでがんばりたい」等の思いから、学級で話し合っただけで決めた「にこにこえがおの1ねん くみ」の学級目標のもと、様々な活動の場面で協力し合い、みんな笑顔になれる方法を考えながら声をかけあって生活している。

(2) 議題選定の理由

これまでの学級会では、「よろしくねかいをしよう」「○○さんとおわかれかいをしよう」等の議題で話し合い活動を行ってきた。自分たちで決めたことを楽しく実践したり、振り返りで友だちによさを認められたりする活動を通して、児童は学級会のよさを実感している。

今回の議題は、「2がっきがんばったねかいをしよう」である。遠足や城山朝会、ひょうたん島オリエンテーリング等の行事や児童会活動、日々の学習でがんばったことを喜び合いたいという多くの児童の思いから提案された。計画委員と相談して本議題を選定し、帰りの会で示したところ、学級全員からの賛成で決定した。本実践を通して、児童が互いにがんばりを認め合い、友達の応援や協力があってこそががんばれたということに気づき、学級への所属感がさらに高まることを願っている。

(3) 指導にあたって

1学期は教師主導で学級会を行い、児童は発表の仕方や話の聞き方、折り合いの付け方等を学んできた。2学期からは、計画委員が教師と共に学級会を進めている。話し合いの手引きを見ながら司会をしたり、意見の短冊を教師と相談しながら動かしたりすることで、少しずつ児童が学級会を進められるようになってきた。3学期からは、2年生に向けて児童だけで学級会が進められるよう、徐々に役割の幅を広げていきたいと考えている。

本時の話し合いに向けては、「話し合いの準備」で自分の意見をまとめる際、これまでの行事や活動の写真を大型テレビに映し、がんばってきたこと、できるようになったことをみんなで振り返る。写真を見ることで、自分やみんなのがんばりを再認識し、みんなで会を盛り上げたいという気持ちが高まることを期待している。

これまでの学級会では、「何をするか」で意見がなかなかまとまらず、時間内に話し合いが終わらないことが何度かあった。そこで、参考となるように「まとめかたのてびき」を配付したり、提案理由を意識できるように提示の仕方を工夫したりした。また、これからの学級会の中で、折り合いをつけたり、他の意見を生かしたりできるように話し合いの中や終末で助言したい。

3 活動の流れと指導助言・評価規準

	活動内容	日時	指導助言	評価規準
話し合いの準備	役割分担・議題選定 (計画委員会) 議題決定(全員)	11/27(月) 昼休み 11/27(月) 帰りの会	議題を整理し、議題の条件を確認しながら選定するよう指導する。	○議題決定の仕方について理解している。 (知識・技能)
	話し合うことの検討 (計画委員会) 話し合うことの決定 (全員)	11/28(火) 業間休み 11/28(火) 帰りの会	話し合いのめあてや内容や順序、時間配分を考えて計画を立てるよう助言する。	○「2がっきがんばったねかいをしよう」への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 (主体的態度)
	自分の意見をまとめる(全員) 話し合いに向けての計画(計画委員会)	11/29(水) 朝の活動 11/30(木) 朝の活動	提案理由をふまえた自分の意見や考えをもって、話し合いに参加できるように助言する。	
話し合い	「2がっきがんばったねかいをしよう」	12/1(金) (本時)	本時の活動に記載	
実践	準備(全員)	12/4(月)～ 12/7(木)	準備の内容を把握し、友達と協力しながら準備ができるよう助言する。	○学級会で話し合っただけで決まったことをもとに、友達と協力して活動に取り組んでいる。
	実践(全員)	12/8(金)	楽しく意欲的に協力して	

		2時間目	活動できているか見守り、必要に応じて助言する。	(思考・判断・表現)
振り返り	振り返り (全員)	12/8(金) 帰りの会	よかった点は十分賞賛し、反省点は次の活動に生かせるよう助言し意欲付けをする。	○実践を振り返り、自分や友達の頑張りに気づいたり、次の活動に生かそうとしたりしている。 (主体的態度)

4 本時の活動

(1) ねらい

学級のみんながさらに仲良くなり、所属感を高められるような活動をめざし、友達の意見を受け入れながら「2がっきががんばったねかい」の計画を立てることができるようにする。

(2) 活動計画

だい ○ かい にここにこ がっきゅうかい けいかく		
12がつ 1にち(きん) 2じかんめ		
しかい ○○さん	こくばんきろく ○○さん	ノートきろく ○○さん
1 ぎだい 2がっきががんばったねかいをしよう		
2 ていあんりゆう (ていあんしゃ: ○○ ○○さん) 2がっきもたくさんがんばって、いろんなことができるようになった。がんばったことをみんなにしてもらって、おいおいをしてもっとなかよくなりたいたいとおもったから。		
3 めあて ・みんながもっとなかよくえがおになれるおいわいのしかたをかんがえる。 ・じかんにきめる。		
4 はなしあい きまっていること とき: 12がつ8にち(きん)、ばしょ: きょうしつ、プログラム すること: はっぴょう(15ふん) 1つ(15ふん)		
じかん	はなしあうこと	きをつけること
15ふん	はなしあうこと1: なにをするか	○ しかい みんながいえるようにする。 とおきなこえでいう。
15ふん	はなしあうこと2: もっとなかよくなれるくふう	○ こくばんきろく じしゃくをわすれずにはる。 いけんカードをすぐにはる。
5ふん	はなしあうこと3: やくわりぶんとん	○ ノートきろく きまったことをとおきなこえではっぴょうする。 きれいなじでかく。
5 きまったことのはっぴょう 6 めあてのはんせい		
7 先生のおはなし 8 おわりのことば		

(3) 指導助言

- 提案理由に沿って、みんなと仲良くなれる「2がっきががんばったねかい」をめざして、計画委員と共に学級会を進めたり助言したりする。
- 友達の意見を受け入れながら話し合いを進められたことを賞賛し、次時の実践の活動意欲を高める。

(4) 評価規準

- 提案理由に沿って、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりしている。
- 友達の思いや意見を大切にしながら、「2がっきががんばったねかい」の内容や工夫について考えている。
(思考・判断・表現)

2 がっき がんばったねかい プログラム

- 1 はじめのことば
- 2 がんばったこと はっぴょうかい
(はんで する)
- 3 15ふん
- 4 かんそう
- 5 せんせいのおはなし
- 6 おわりのことば